

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	ハスクバーナ・ゼノア株式会社	事業所名	川越工場				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	貨物の輸送量の把握を継続実施 実績は規制値に対して1/10程度			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	社内の貨物輸送委託を廃止し路線便にて出荷を継続実施。環境配慮をしている運送会社(ヤマト運輸/佐川急便/西濃運輸/トール等)を積極的に活用			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	梱包箱改善活動で積載効率の向上を目的に新しく設計した543XPチェーンソーの台形箱が「2020日本パッケージングコンテスト」の【ロジスティクス賞】に入賞しました。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	社内の貨物輸送委託を廃止し、すべて路線便にて出荷を継続			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	出荷時に20/40フィートを使いわけを把握、管理を継続。コンテナ積載量が最大になるように出荷日調整も実施			○	○	○
05	計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (01) 発注時間及び配送時間のルール化	多頻度少量輸送を抑制するため、受注管理を1日5回に分け最終バッチ(15:30)後にすべての荷物をまとめて集荷、発送するようにしている。			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請</p>	<p>以前はサプライヤーからの直送便が多かったが、現在はエコドライブを推奨している路線便(ヤマト、佐川等)に変わってきている。既存の直送便の業者へは引き続き啓蒙活動に努める。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>工場内に待機場、出荷場、荷卸し場を整備済み</p>	○	○	○